

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 地理歴史科 科目 歴史総合

教科： 地理歴史・公民科 科目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組 ～ 7 組

使用教科書：（ 実教出版『歴史総合』 ）

- 教科 地理歴史科 の目標：
- 【知識及び技能】

現代世界の地域的特色と歴史に関して、調査や諸資料から様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。	歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 ・「近代化」について考察する。 ・18 世紀の日本やアジア・ヨーロッパの結びつきを理解する。	第1章 近代化への胎動 ・江戸時代の日本と東アジア ・江戸時代の諸改革 ・幕政改革と東アジア ・「近代化」について考察する。	【知識・技能】 近代化に関わる史資料を読み解く技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組み、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとする。	○	○	○	6
	B 単元 ・欧米で起こった市民革命・産業革命により、社会はどのように変化したか理解する。	第2章 欧米の市民革命 ・イギリスの産業革命とアメリカの独立 ・フランス革命 ・アメリカの発展 ・アヘン戦争と日本の開国	【知識・技能】 市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯を理解している。 【思考・判断・表現】 市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現代社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 市民革命や産業革命が現代社会に与えた課題について、解決策を追究しようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 単元 ・近代化が進むなかで、欧米諸国はどのような国家を形成していったのか理解する。	第3章 欧米諸国と日本の国家形成 ・イギリスとフランスの繁栄 ・明治政府の諸改革 ・日本のアジア外交と国境問題 ・自由民権運動	【知識・技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について理解している。 【思考・判断・表現】 アジア諸国の変容を比較・関連させて考察し、「西洋の衝撃」の歴史的意義について自分の言葉で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、追究しようとする。	○	○	○	8
	D 単元 ・日本や東アジア諸国は、近代化を通じてどのように変化していったのか理解する。	第4章 帝国主義 ・帝国主義の時代へ ・日清戦争 ・日露戦争 ・日本の産業革命	【知識・技能】 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について理解している。 【思考・判断・表現】 明治維新の歴史的な意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、自分の言葉で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会にどのような課題を与えたかについて考察し、解決策を追究しようとする。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

2 学 期	A 単元 ・第一次世界大戦は、日本を含む世界の人びとにとってどのような戦争になったのか理解する。	第5章 第一次世界大戦 ・第一次世界大戦 ・ロシア革命とソ連 ・米騒動 ・ワシントン体制	【知識・技能】 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発時から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について理解している。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々が戦争に協力した目的について考察し、自分の言葉で表現ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現在の社会に生み出した課題について考察し、解決策を追究しようとする。	○	○	○	8
	B 単元 ・欧米や日本など、世界各地に広まった大衆化とは、どのようなものだったのか理解する。	第6章① 経済危機 ・第一次世界大戦後 ・社会運動と普通選挙	【知識・技能】 ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化を理解している。 【思考・判断・表現】 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と大衆社会の到来が現代社会に生み出した課題を考察し、解決策を追究しようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 単元 ・大衆は、どのようにして戦争を導いてしまったのか理解する。	第6章② 第二次世界大戦 ・世界恐慌と各国の対応 ・ファシズム ・満州事変と日中戦争 ・第二次世界大戦	【知識・技能】 世界恐慌への各国の対応が世界情勢に与えた影響と、ソ連のスターリン独裁の功罪について理解している。 【思考・判断・表現】 ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、ドイツや日本で大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 大衆の戦争への加担という問題を現代社会における課題としてとらえ、その解決策を追究しようとする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	A 単元 ・第二次世界大戦を経て、国際秩序はどのように変化したのか理解する。	第7章 冷戦と脱植民地 ・朝鮮戦争と日本 ・植民地の独立 ・米ソ陣営	【知識・技能】 冷戦および冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序を日本と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】 国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際関係を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのか考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制が現代社会に与える影響について考察し、解決策を追究しようとする。	○	○	○	5
	B 単元 ・「グローバル化」について考察する。 ・冷戦が展開されるなかで、日本や世界の国々はどのような選択をしたのか理解する。	第8．9章 グローバル化 ・石油危機と世界経済 ・日本の経済大国化 ・地域紛争と対立	【知識・技能】 55年体制の形成から高度経済成長に至る日本の動きを、冷戦下の国際情勢を踏まえながらその中に位置づけて理解している。 【思考・判断・表現】 冷戦下の日本と世界の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、自分の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦期における各国の動向、現在の社会においてどのような課題を生み出したのか考察し、解決策について追究しようとする。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
							合計 70